

私たちがめざすもの それは・・・

ゆたかな緑 きれいな水 いきた大地

NPO法人水環境研究所

# わきみず通信



第24号

令和4年8月20日発行

小堤の湧水（横芝光町）

## 活 動 レ ポ ー ト

### 湧水モニタリング調査が始まります。

9月より湧水モニタリングが始まります。今年には下表に示した32箇所です。

各地点とも3年に1回程度のローテーションで調査をじっしします。もちろん、新規湧水情報も積極的に取り入れて、調査を進めていく予定です。

会員の皆さん、ぜひ調査に参加してください。調査日程が確定しましたら会員の皆さんにメールでお知らせいたします。参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。

【令和4年度調査地点一覧表（32箇所）】

コース No.	エリア	地点名	コース No.	エリア	地点名
R4-1	印旛沼	加賀清水	R4-6	九十九里	石尊様
	印旛沼	上座公園湧水群		九十九里	冷水大師
	印旛沼	沢山の泉		九十九里	中白湧水
	印旛沼	乳子清水		九十九里	銚子市春日台
R4-2	印旛沼	勝間田の池		利根川	横山清水
	印旛沼	砂の水車		R4-7	内房
R4-3 10月1日	印旛沼	堂谷津湧水群	内房		いっせんぼく湧水
	印旛沼	六崎弁天	内房		月出の湧水
	手賀沼	月影の井	内房		第二柳川トンネルの湧水
	手賀沼	桃山公園の湧水	内房		報徳井戸
利根川	長寿水	内房	国本の湧水		
R4-4 10月29日	奥東京湾	21世紀森と広場の湧水	R4-8 10月5日	外房	駒返しの湧水
	奥東京湾	羅漢の井		外房	行屋井戸
	奥東京湾	雛子清水		外房	清澄寺の湧水
	利根川	権五郎目洗いの池			
R4-5	奥東京湾	村田川湧泉	日付は調査日予定日		
	奥東京湾	大藪池	日付がないコースは調査日未定		
	九十九里	南玉不動尊の灌			

## ♻️ 畔田谷津レポート「定期調査終了、いよいよまとめに！」

平成 28 年に畔田谷津の実験フィールドで調査を開始して 7 年目を迎えました。月 1 回の定期調査に加え、観測井や実験水路での試行錯誤を繰り返しながらも多くのデータを得ることができました。蓄積されたデータからは、洪積台地では見つけられない地下水の詳細な動き、そして複雑な地質環境や季節変動に敏感に反応する水質の変化をとらえることができました。これから、調査員の皆さんは調査のまとめに取り掛かります。これらの成果は徐々に皆さんに報告できるものと思います。乞うご期待！

ということで、6 年間の軌跡を写真で振り返ってみましょう。



フィールドは放棄された谷津田です



まずはオーガーでの地質調査



次は観測井を作ります。



ドロドロになりながらの井戸建込、



管頭標高も測りました



沖積層の水は 2 層に分か  
れていました



実験水路も作りました。

# 瀧 和夫理事お疲れさまでした！



## そして近藤理事長宜しくお願いたします。

令和4年度より、第四代理事長として近藤昭彦理事に瀧和夫理事よりバトンが渡され、新年度がスタートしました。瀧和夫理事におかれましては、長期間にわたり理事長として私たちを指導・牽引していただき本当にありがとうございました。特に、畔田谷津調査では瀧理事のエンジン全開のパワーで私たちを引っ張っていただきました。これからは近藤新理事長のリーダーシップのもと、会員が一丸となって活動を進めていきたいと思っております。



### 瀧 和夫前理事長から皆様へ

このたび、本年5月21日の第26回理事会をもちまして、理事長を退任することとなりました。在任の間、多くの方々から格別のご指導とご支援を賜りましたこと、改めてここに厚く御礼申し上げます。

弊所水環境研究所は平成12年7月より湧水および涵養域における水質、動植物相、地質露頭の調査を印旛沼流域にて実施してきた「千葉県自然環境研究会」をベースとするNPO法人でございます。その後、これを発展させ、平成16年10月に「特定非営利活動法人 水環境研究所」として設立認可され、多くの会員およびご賛同の方々のご支援を受けつつ18年間活動してまいりました。

4期8年間理事長を務めさせて頂きました。時あたかも環境基本計画は第4次から第5次へと進み、話題豊富で活気に満ちた8年間でした。

主な事業として、印旛沼環境基金助成事業による調査研究、ちば環境再生基金助成事業による印旛沼流域および千葉県域の約200カ所の湧水の定期調査、水環境に関する学習・啓発活動、調査研究成果の学会発表、また、ニュースレター『わきみず通信』や年報『わきみず』の発行などの活動を行ってまいりました。更に、これらの調査等の結果は『佐倉市畔田地区水環境状況調査報告書』や県内の主な湧水100カ所に対する水環境的特徴を示した『ちばの湧水』、『湧水めぐり』等の啓発・広報活動、調査・研究成果を発信してきたところです。

この間、印旛沼流域水循環健全化会議による「第4回印旛沼・流域再生大賞」を受賞したことは、2012年の第1回の同大賞に白鳥 孝治 初代理事長の受賞と合わせて弊所の平素の研鑽の賜物と感謝いたしているところでございます。それにも増して、協賛活動頂きましたNOPおよび環境活動の皆様、幅広いご指導・ご支援を賜りました関係機関、さらに、活動成果を評価戴き助成事業としての補助を賜りました関係機関に心より感謝申し上げます。

今年度より、近藤 昭彦 新理事長の下、理事として特定非営利活動法人水環境研究所の活動を支えることとなりました。環境活動の推進と充実を目指し、千葉県内の市民・団体、行政、企業および研究機関等の専門家との連携のもと、相互の情報交換と交流を深め、より良い、豊かな環境づくりのためのいっそうの活動・展開を推し進めることと存じます。

誠に微力ではありますが、弊所の一層の発展のため努力いたす所存でございます。新理事長共々、引き続き変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



## 近藤 昭彦新理事長から皆様へ

このたび、本年5月21日の第26回理事会において、理事長を拝命いたしました。微力ではございますが、皆様方のご支援によりまして、NPO法人水環境研究所の活動をますます価値あるものとしていきたいと考えております。

水環境研究所はその前身である「千葉県自然環境研究会」の発足から数えて20余年に及ぶ活動の歴史があると伺っております。まさに21世紀の開始とともに生まれ、NPO法人に成長し、そして今、新たな役割を付託されたのではないかと思います。20世紀後半は高度成長、都市化とともに人と自然が分断され、公害をはじめ様々な問題が生じた時期でした。そして迎えた21世紀には新たな人と自然の関係性が模索されています。日本の人口もピークを過ぎ、少子高齢化、生産年齢人口減少は否応なく日本が縮退社会に入ったことを意味していますが、それは成熟社会をめざす道でもあります。

成熟社会のあり方には様々な考え方があると思いますが、密接な人と自然の関係性を持つ社会はひとつのあり方として目指したい社会です。そのためには自然のありさまをよく知ること、人の暮らしとの関係性を意識することが大切ですが、なにより自然に“もののあはれ”を感じ、“いとおかし”と生きることが“しあわせ”なのではないか。水環境研究所は“しあわせ”を生み出す活動を行うNPO法人といえると思います。

自然のありさまを知ることは調査・研究の範疇に入りますが、それを実施するのはアカデミアとしての研究者だけではなく、地域の専門家である市民も担う時代に入ったと思います。現役時代に研究者、技術者であった専門家も市民となり、地域を複数の視座、視点から多面的に俯瞰することによって地域の様々な事象を総合的に理解することができるようになります。それを“ローカル市民科学”と名付け、水環境研究所の目標のひとつとしたいと考えております。

地域に住むということは、地域の専門家になるということです。それが“ふるさと感”を醸成し、SDGsがめざすより良い社会の達成につながるのではないのでしょうか。課題のひとつはローカル市民科学の担い手として若手、現役の参加を促すことです。様々な思いを持つ個人や団体との連携も視野に入れた活動を行いたいと考えております。

世の中はコロナ禍、争いの最中にあり、先行きが不透明な時代になりましたが、こういう時こそ新たな社会のあり方を思い描き、新しい時代の精神を創っていくことができるのではないかと感じています。NPO法人の活動を明るく、楽しく、誇りを持って進めていくことができますよう、皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

### \*\*\*\*\* 編集後記 \*\*\*\*\*

新型コロナウイルス、なかなかしぶといですね！私も、マスク生活を当たり前のこととして、受け入れられるようになりました。最近、今さらですが、NHKの番組にほどされ地球史、日本列島の形成史に興味を持ち、本を買いあさりしました。学生時代、いったい何を勉強してきたのでしょうか。それにしても、すべてプレートテクトニクス理論を前提として地球上の現象をすべて解決していることがなんとなく恐ろしいと感じています！（K）

\*\*\*\*\*

### 「wakimizu通信」第24号

発行 令和4年8月15日

編集・著作 特定非営利活動法人水環境研究所

URL : <http://www.wakimizu.org/>

お問い合わせは下記まで

e-mail: [office\\_iwe@wakimizu.org](mailto:office_iwe@wakimizu.org)